

事業番号	075
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまきプレミアム商品券発行助成事業				担当部	市民産業部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	商工観光課				
	事業期間	平成23年度 ~				担当係	商工労政係				
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		1 商店街を再生する				
		副目的									
	予算区分	款	7	項	1	目	2	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	地域限定商品券発行事業費補助金交付要綱									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	厳しさを増す市民生活を支援するとともに、地域経済を活性化するため、商工会議所が発行する「こまきプレミアム商品券」の10%のプレミアム分と事務経費の補助を行う。									
	内容 (手段)	<p>【平成24年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所が平成19年度から、市内中小商業者の育成及び活性化によるモチベーションの向上を目的に実施していた地域限定商品券発行事業を、市民生活の支援及び地域経済の活性化を目的として発行額を大幅に増額し実施する商品券事業に対し、プレミアム分(1億円)と事務経費分を補助した。 120,500千円</li> <li>また、実施にあたっては商工会議所内に設置された地域限定商品券発行事業推進プロジェクトに職員を派遣するなど、協力体制を築きながら実施した。</li> </ul> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年6月と12月に5億5千万円ずつ2回発行をした。(贈答用商品券除く)</li> <li>・参加店 566店(平成24年12月1日現在)</li> <li>・えーなも券(共通券)5,000円とイーなも券(専用券)6,000円を1セットとし、額面金額11,000円を10,000円で5万セットずつ2回に分け販売した。</li> </ul> <p>実施に当たり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟店からの情報発信手段として、店頭表示できるよう商品券のPRポスターを作成した。</li> <li>・市民が優先的に購入できるよう、市民限定の予約期間を可能な範囲で長く設定した。</li> <li>・インターネットによる予約受付を実施した。</li> <li>・購入者データの一元管理を行い、重複購入の防止に努めた。</li> <li>・大量購入の防止の為、1回の利用上限額を22万円とした。</li> <li>・市民アンケート(H24.7.25~8.15)を実施した。</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入者アンケート(H24.7.23~8.31)を実施した。</li> </ul> <p>【25年度直接経費の内訳】</p> <p>こまきプレミアム商品券発行事業費補助金(130,000千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	費用	直接経費	千円		63,670	120,500	130,000
	正職員	従事者数	人		0.30	0.50	0.30
		人件費	千円	0	1,599	2,665	1,599
	その他職員	従事者数	人		0.00	0.00	0.00
		人件費	千円		0	0	0
	費用合計		千円	0	65,269	123,165	131,599
対前年比		%		#DIV/0!	188.7	106.8	
財源	一般財源	千円	0	60,801	123,165	131,599	
	国・県支出金	千円		4,468	0	0	
	その他財源	千円		0	0	0	

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	加盟店舗数	店	目標		400	540
実績					533	588	
	商品券発行額	千円	目標		—	1,100,000	1,118,000
			実績		566,980	1,117,913	
	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			購入した市民の全市民 における割合	%	目標	—	10.0
	新たに販売促進活動に 取り組んだ店の数		目標		—	100	100
			実績		56	—	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果		
	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度に実施した2回の商品券販売について早期に完売をした。</li> <li>約7割の商品券が中小小売店舗で利用されている。</li> <li>加盟店舗数が平成25年3月31日現在588店舗となった。</li> <li>贈答用商品券を17,913千円分発行した。</li> </ul>	
	事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人あたりの購入額が増えているため1回あたりの市民の購入割合が減少している。</li> <li>事務費に対する補助金について、他市の状況を調査し補助内容や事務経費の精査をする必要がある。</li> <li>引続き市民・購入者・加盟店などに対するアンケートを実施し、事業の効果的な運用を図る必要がある。</li> </ul>	
	事業を縮小・廃止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟店舗数も増えてきていることから、市内中小小売店舗の顧客獲得手段として取り入れられてきている状況であり廃止をすると地域経済の衰退につながる。</li> </ul>	
	平成25年度の改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)</li> <li>販売方法等の見直しを行い、より多くの市民の方に購入していただけるよう検討をする。</li> <li>事務費に対する補助金について、他市の状況を調査し補助内容や事務経費の精査をする。</li> </ul>	
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	こまきプレミアム商品券事業も浸透してきており、加盟店舗数も600店舗を超え、中小小売店舗への事業効果があるため。	
	26年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに多くの市民に利用いただけるよう購入方法の見直しやPR方法について検討をする。</li> <li>より効率的な事業運営を行い、適正な事務費補助に努める。</li> <li>引続き市民・購入者・加盟店などに対するアンケートを実施し、事業の効果的な運用を図る。</li> </ul>	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。